

認定権者記載欄		

中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定による認定申請書（イ-③）

令和 年 月 日

（宛先）狭山市長

（申請者）

住 所 _____

氏 名 _____

（名称及び代表者の氏名） _____ 実印

電 話 番 号 _____

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、_____（注2）が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

※表には、指定業種であって、売上高等の減少が生じている事業が属する指定業種（日本標準産業分類の中分類番号と中分類業種名）を記載。当該指定業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する指定業種を左上の太枠に記載。

記

（1）前年の企業全体の売上高等に対する、上記の表に記載した指定業種（以下同じ。）に属する事業の売上高等の減少額等の割合

B-A

D × 100 割合 %

A：申込時点における最近3ヶ月間の指定業種に属する事業の売上高等 _____ 円(注3)

B：Aの期間に対応する前年の3ヶ月間の売上高等 _____ 円(注3)

D：Aの期間に対応する前年の3ヶ月間の全体の売上高等 _____ 円(注3)

（2）企業全体の売上高等の減少率

D-C

D × 100 減少率 %

C：Aの期間の全体の売上高等 _____ 円

D：Aの期間に対応する前年の3ヶ月間の全体の売上高等 _____ 円

（注1）本様式は、指定業種に属する事業の売上高等の減少が申請者全体の売上高等に相当程度の影響を与えていることによって、申請者全体の売上高等が認定基準を満たす場合に使用する。

（注2）_____には「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

（留意事項）① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 狭山市長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

認定番号 番

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

狭山市長 小谷野 剛

（注）本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで